

きらめき 5つの心

みんなで笑顔、感謝の気持ちを伝える 「とまってくれてありがとう運動」をしよう！



「とまってくれてありがとう運動」とは、

みんなが安全に横断歩道を渡ることができるように、運転手さんが、
止まって待ってくれたら、ありがとうの感謝の気持ちを伝える活動です。

つまり、

いつもの安全な横断歩道の渡り方



「ありがとう (笑顔でお礼)」



みんなが笑顔で「ありがとう」を伝えることで、
運転手さんもうれしい気持ちになり、ますます安全に
運転しようと思うんだって。



Signal-chan

ひとから感謝されたり、優しくされたら、何かお返ししてあげたくなる気持ちってあるよね。
ありがとうを伝える行動が、運転手さんの気持ちを変え、やがてはこの地域の交通安全の輪を広げることにつながるってわけだね。

やってみよう！「とまってくれてありがとう運動」

① 横断歩道の前でしっかり止まろう



② 手をあげて、右を見て、左を見て、もう一度右を見て、車が来てい ないか確かめよう



信号がある横断歩道では、信号をきちんと確認し、例え青信号でも、左右の安全を確認してから渡ろうね。



③ 車が来て、自分を見つけて止まってくれたら、運転手さんとアイコン タクト（目と目を合わせる）をし、ペコリとおじぎをして「とまっ てくれてありがとう」の感謝の気持ちを伝えよう！ そして反対側から車が来ていないか 確認しよう

横断する直前で車が見
えたら、急いで渡らず気付
いてくれるまで待つよう



発行：豊田市・豊田市交通安全市民会議

野見小の登下校とまってくれてありがとうルール

列の一番後ろの班長さんが、代表で ありがとうを伝えよう。

全員でやると、横断歩道で 交通渋滞を招き、かえって危険です。